

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和4年2月10日

施設名	青少年体育館	所管課	高知県教育委員会事務局生涯学習課
-----	--------	-----	------------------

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)高知県青年会館	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町八田1767		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><令和2年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生スポーツ教室 ・体力つくり教室 ・小学生バドミントン教室 ・第23回小学生ドッジボール大会 ・レディーストレーニング講習会 ・青少年体育館スポーツ交流会 ・スポーツ鬼ごっこ教室 ・フライングディスク教室 ・青年団連携事業 ・一般社会人対象スポーツ教室 		
施設内容	<p>青少年の健全育成及び県民の健康増進並びに体育の振興を図り、併せて社会教育活動の用に供することを目的としている。</p> <p>利用開始日：平成3年12月1日 建築物：鉄筋コンクリート一部2階 施設概要：</p> <p>1階アリーナ 1,728㎡ バasketボール2面 バレーボール3面 バドミントン10面 卓球15台 ハンドボール1面 テニス3面 トレーニング室 144㎡ 会議室72㎡×2室 更衣室・シャワー室 2階観覧席 1,500席</p>		
職員体制	職員：館長1名 館長補佐1名 副館長1名 指導員4名 合計：7名 ※館長・館長補佐は高知青少年の家と兼務		

2 収支の状況

(単位：円)

		R01年度(決算)	R02年度(決算)	R03年度(予算)
収入	県支出金	38,188,000	37,591,000	37,281,000
	事業費収入	530,333	225,510	600,000
	収入計	38,718,333	37,816,510	37,881,000
支出	事業費	484,392	342,323	680,000
	管理運営費	16,124,203	14,768,251	13,950,000
	人件費	18,552,599	19,019,306	19,808,000
	消費税	3,557,139	3,686,630	3,443,000
	支出計	38,718,333	37,816,510	37,881,000
使用料収入		4,407,270	3,691,770	4,147,000

3 利用実績

(1) 利用団体数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
利用者数	65,449	70,484	58,630	60,991	39,169	58,945
利用団体数	1,553	1,830	1,482	1,640	1,595	1,620

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックの開催を機に、様々な競技への関心が高まっているため、パラリンピック競技の事業化や、健常者と一緒に行える事業にも取り組んでほしい。 ・体育館の予約状況や混雑状況がホームページで発信できれば、混雑を緩和し、感染症対策にもつながるので、体育館のホームページの改善を検討してほしい。 ・SNSを活用した効果的な情報発信についても検討してほしい。 ・主催事業については、回数・定員を縮小し、検温・手指消毒・マスク着用・3密回避などの感染症対策を徹底して実施することができた。 ・「小学生スポーツ教室」では、5種目の競技を行い、スポーツに親しむ児童の育成に努めている。特に、新体操では発表会を行うことで児童の競技への達成感も高めている。 ・いの町と連携して各種スポーツ大会を共催し、地域型総合スポーツクラブの普及の一助となっている。 ・年間を通して開館し、利用者ニーズに応えている。 ・高知県の健康パスポートと連動した事業や、県内で行われるスポーツイベントの情報発信など、体育館の注目度向上につながる取組を検討してほしい。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの情報発信が随時行えるよう改善を検討してほしい。 ・利用者アンケートや事務所前の意見箱により、年間を通じてニーズ等を把握している。 ・体育館内外の清掃や器具庫の整理整頓を心がけ、清潔な施設づくりに努めている。 ・高齢者を対象とした主催事業の開催や、障害者への貸室提供など、障害者や高齢者に配慮した取組を行っている。
③施設の運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・事故発生時の救命救急活動が円滑に行えるよう、利用団体との協力態勢の整備も検討してほしい。 ・職員による巡回、目視による床面のささくれやトレーニング器具の安全点検など、常に職員が気を配り、安全管理を徹底している。 ・今後も、スポーツを行う施設として、救命救急の手順やAED操作の定期的な確認など、ケガや事故を防止するための安全管理を徹底してほしい。 ・日頃から職員が業務の合間に玄関掃除や草刈りを行うなど、利用者が気持ちよく安全に利用できるよう努めている。
④利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・土日は大会の開催が多く、平日は午後から夜間にかけて、ほぼ毎日施設利用が利用されている。平日午前中の利用促進策についても検討してほしい。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少することはやむを得ないが、使いやすい施設であり続けることがとても大切である。 ・コロナ禍ではあるが、対策を講じて計画した10事業のうち9事業を実施することができた。
⑤収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、費用の実績も下がると思われるが、代替事業の実施や既存事業の回数増などにより、今後も指定管理代行料を有効に活用できるよう、努めてほしい。
総合評価	青少年教育施設としての目標や、仕様書に定める内容を十分に達成している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・少ない職員数で年間358日開館し、利用者のニーズに十分応えている。 ・トレーニング機器等を安全に利用できるよう、点検を徹底して無事故を継続している。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの